

ら

楽に対話ができるように

【ASDへの対応例①】

今回は、アメリカで開発されたソーシャルスキルトレーニング(SST)の技法のいくつかの例を紹介します。



サイト「家庭や学校のためのSST 道具箱」より

① 直接伝える（教示）

会話の時、適切な相手との距離間や声の大きさ、表情などを、絵カードや言葉で教える。

② 見て学ぶ（モデリング）

本人の前で、適切なふるまい方を見せる。

③ やってみる（リハーサル）

ロールプレイのように、模擬的な場面で実際にやってみる。

④ 振り返る（フィードバック）

事後に振り返り、その時の言動や態度をほめたり修正したりする。

※ 以上の例を有効に活用するために、段階的に進めたり、いくつか選んだりするとよいでしょう。